

令和7年度 生活習慣病検診管理指導協議会  
**肺がん部会**

# 検診機関毎のプロセス指標について

# 検診機関単位での再集計

市町村が委託している県内の検診機関は限られるため、**検診機関ごとにプロセス指標を合計し再集計**

## → 5 検診機関に分類

(一つの市町村で、複数の検診機関に委託している場合で、国のデータ上、検診機関毎にプロセス指標を分離できない場合や検査数が少ない検診機関は集計から除外)

### 検診機関毎の受託状況：市町村数 (2020-2022年度の委託状況)

検診機関	集団	個別
A	29	
B	4	
C	1	
D	1	
E	2	
F	1	1
G	1	1
H		1
I		1

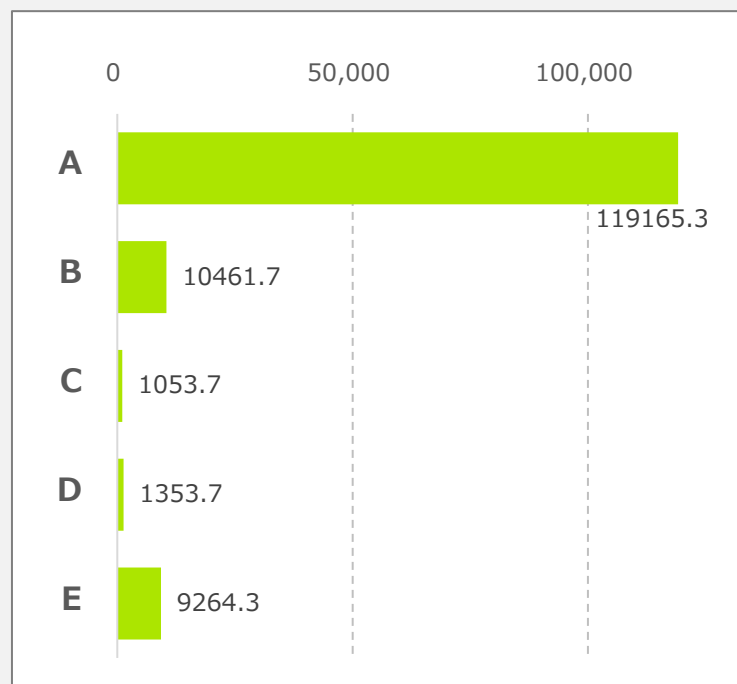
集計対象



検診機関	集団	個別
A	27	
B	4	
C	1	
D	1	
E	1	

検診機関Aに委託している市町村のうち2市町村と検診機関Eに委託している市町村のうち1市町村は、複数の検診機関に委託しているため、指標を分離できないことから集計から除外。

### 検診機関毎の一次検診受診者数（集計対象） (2022-2022年度：3年平均)



市町村によっては、複数の検診機関に委託している場合あり

検診機関 F、G、H、I は受診者数が少ないため集計から除外

# 検診機関毎のプロセス指標 (2020－2022年)

年度	検診機関	肺がん検診 の受診者数	要精検者数	精検 受診者数	肺がんで あった者 の数	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応 適中度
R2	A	116,531	2,537	2,182	77	86.01%	2.18%	0.07%	3.04%
	B	9,895	89	77	0	86.52%	0.90%	0.00%	0.00%
	C	1,105	54	52	0	96.30%	4.89%	0.00%	0.00%
	D	1,422	11	11	0	100.00%	0.77%	0.00%	0.00%
	E	7,787	348	308	0	88.51%	4.47%	0.00%	0.00%
R3	A	124,163	2,766	2,366	88	85.54%	2.23%	0.07%	3.18%
	B	10,686	83	67	0	80.72%	0.78%	0.00%	0.00%
	C	1,035	57	31	1	54.39%	5.51%	0.10%	1.75%
	D	1,571	53	53	5	100.00%	3.37%	0.32%	9.43%
	E	8,148	392	368	0	93.88%	4.81%	0.00%	0.00%
R4	A	116,802	2,266	1,903	90	83.98%	1.94%	0.08%	3.97%
	B	10,804	92	79	0	85.87%	0.85%	0.00%	0.00%
	C	1,021	15	7	0	46.67%	1.47%	0.00%	0.00%
	D	1,068	11	11	2	100.00%	1.03%	0.19%	18.18%
	E	11,858	390	381	0	97.69%	3.29%	0.00%	0.00%

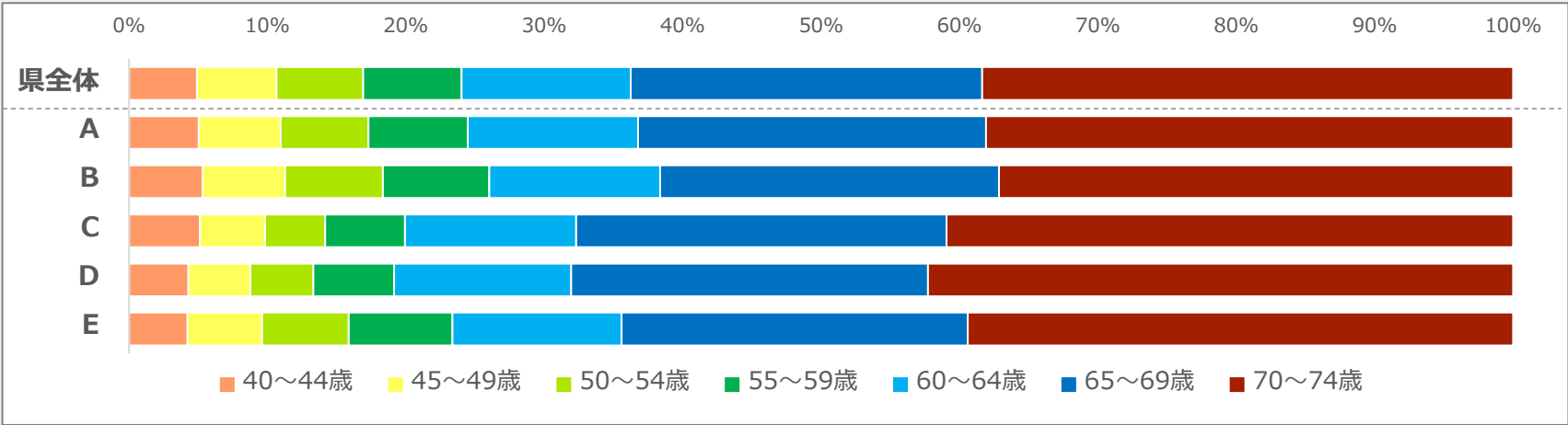
出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第27-1表 令和2～4年度における肺がん検診受診者数… から県で計算  
プロセス指標のため40-74歳を抽出

# 検診機関毎のプロセス指標 3年平均 (2020-2022年)

プロセス指標 (3年平均)				
区分	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度
宮城県	86.0%	2.1%	0.063%	3.018%
A合計	85.2%	2.1%	0.071%	3.396%
B合計	84.4%	0.8%	0%	0%
C合計	65.8%	4.0%	0.032%	0.585%
D合計	100.0%	1.7%	0.169%	9.205%
E合計	93.4%	4.2%	0%	0%

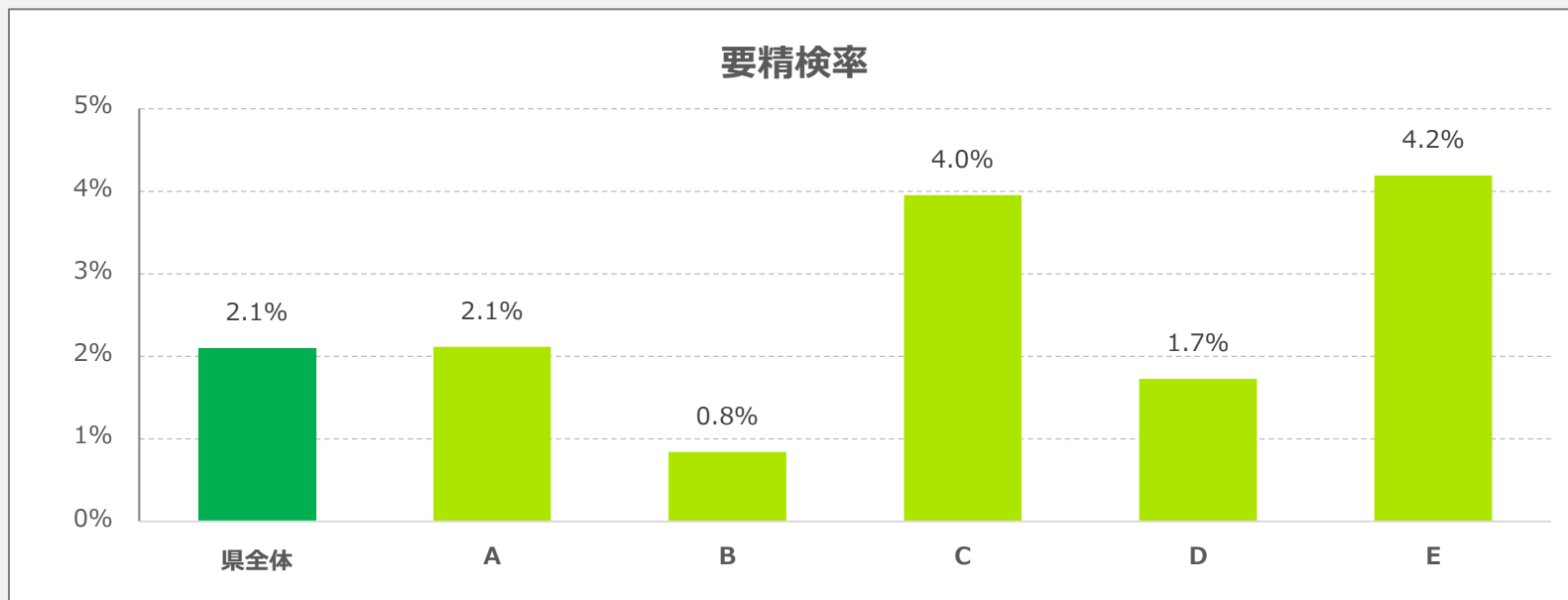
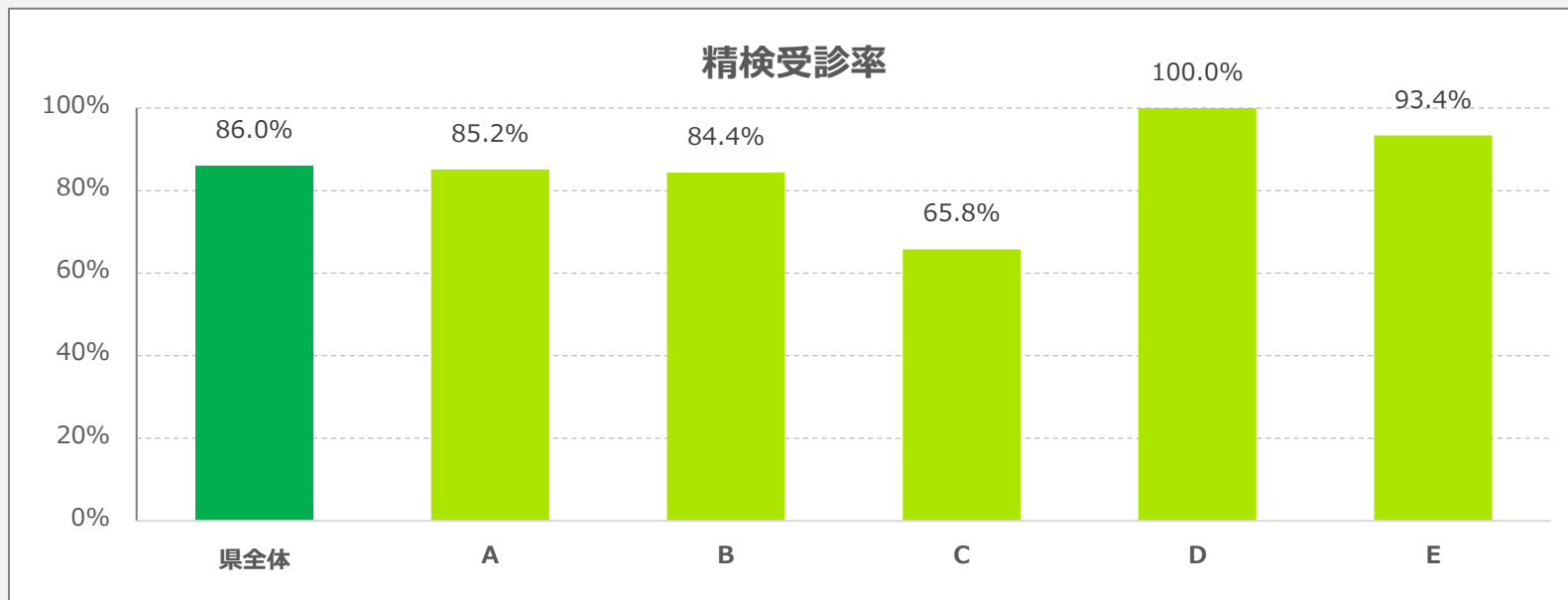
出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第2 7 - 1 表 令和2～4年度における肺がん検診受診者数… から県で計算  
プロセス指標のため40-74歳を抽出  
注意：令和2年度から令和4年度までのそれぞれのプロセス指標の3年平均を算出したもの

## (参考) 検診機関毎の受診者年齢構成割合



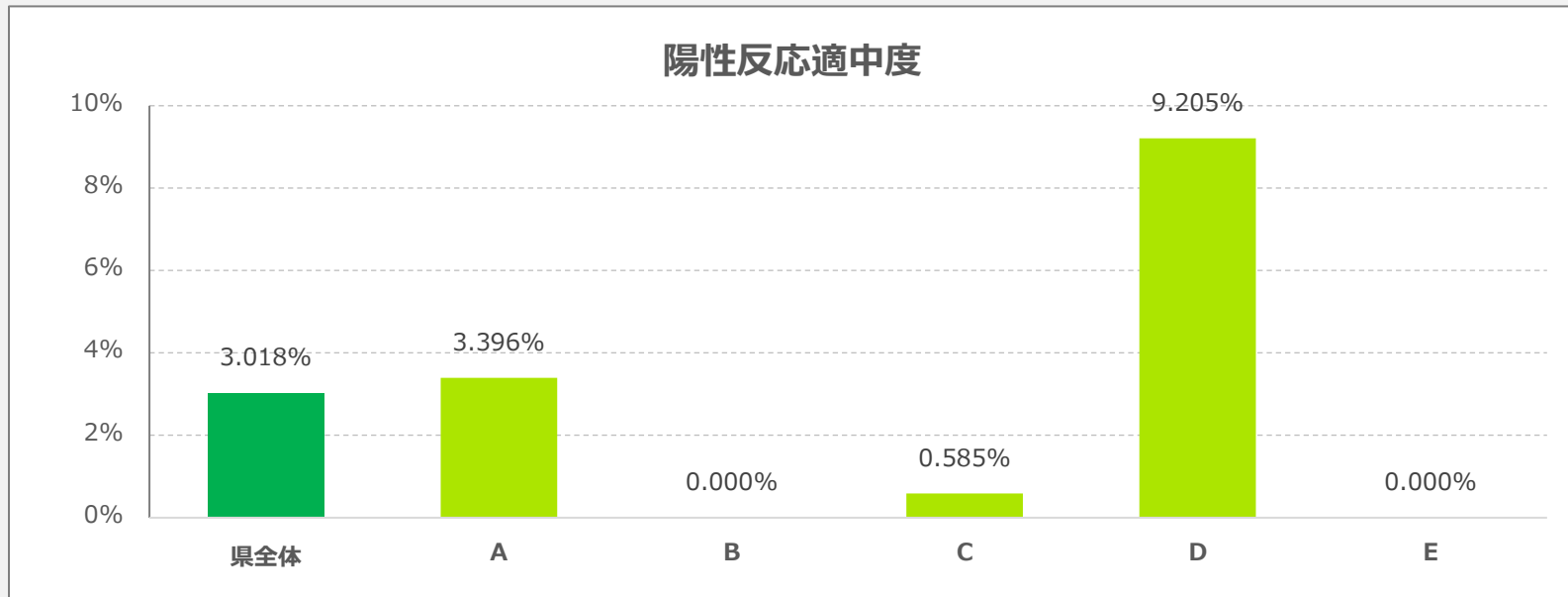
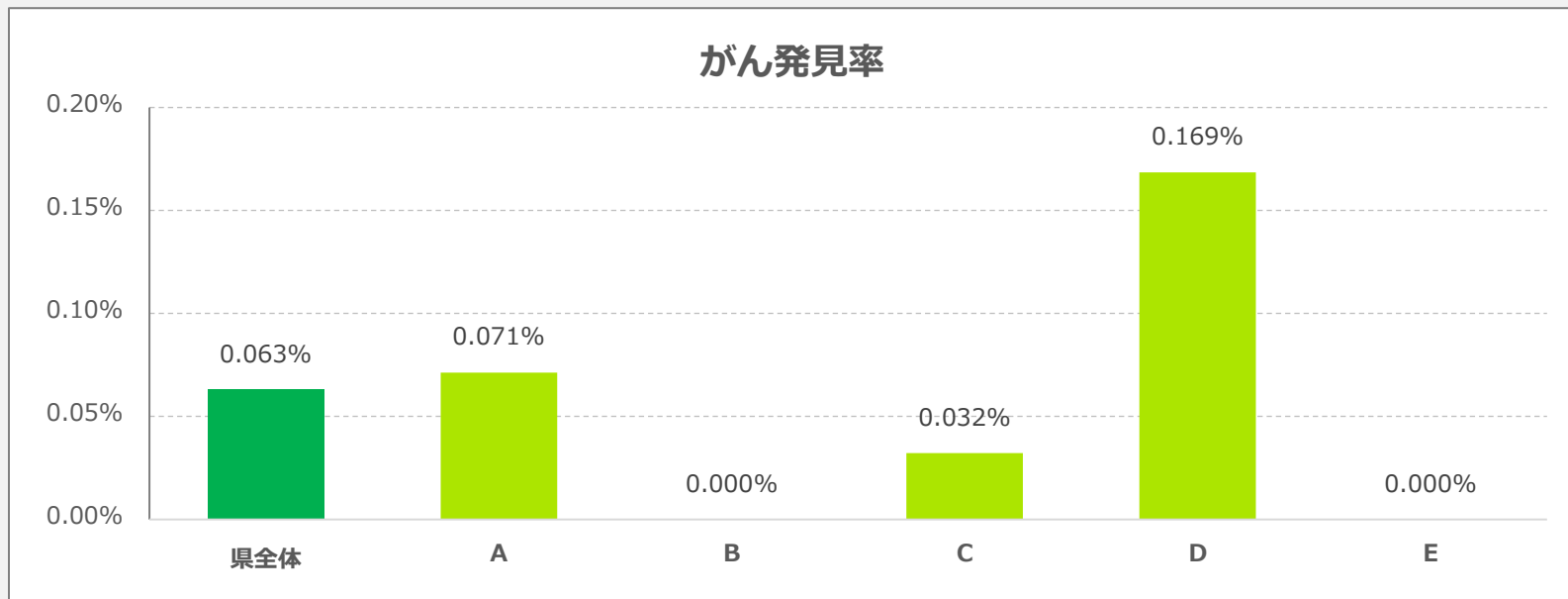
出典：令和4年度 地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第1 6 - 1 表 肺がん検診受診者数… から県で計算

# 各プロセス指標① 3年平均（2020－2022年）40-74歳（男女計）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第27-1表 令和2～4年度における肺がん検診受診者数… から県で計算  
プロセス指標のため40-74歳を抽出

## 各プロセス指標② 3年平均（2020－2022年）40-74歳（男女計）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第27-1表 令和2～4年度における肺がん検診受診者数… から県で計算  
プロセス指標のため40-74歳を抽出

# (参考) プロセス指標の意味と活用方法

	各指標値の評価	値が適正でない場合の検討事項		
		指標	予想される原因	検討内容
精検未受診率	低いことが望ましい	高値	①精検の受診勧奨が適切でない ②精検の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	①受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか ②精検受診者の利便性
		低値	0%に近いことが理想	
要精検率	対象集団に応じた適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か
陽性がん発見率 反応適中度	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	極端に高値	受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

- 検診機関により、要精検率、がん発見率及び陽性反応適中度にバラつきがみられた。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします